

くらしの 情報館

ホームページアドレス
http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/
☎=問い合わせ先
内=内線番号
◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎21111/Fax272577
◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎32111/Fax32234
◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎462111/Fax462409
◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎342111/Fax343584

募集

市職員採用試験

〔平成27年4月1日以降採用〕
《大学卒程度 後期試験》
●職種・採用予定人員 行政事務 若干名
●資格 昭和55年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた方（学歴不問）。
●第一次試験日 8月24日(日)
●申込期限 7月4日(金)～25日(金)まで ※申込用紙は6月27日(金)から配布します。
※複数の職種を重複して申し

白河まちなか逸品巡りツアー

●日時 6月21日(土)／午前10時～午後2時
●定員 16人 ※先着順
●参加料 700円(昼食代込み)
●申込期限 6月19日(木)まで
※コースは当日発表します。
●申し込み・問い合わせ先 白河商工会議所 ☎233101

案内

児童手当の現況届

児童手当を受給するには、

毎年6月に「現況届」の提出が必要となります。現況届の提出がない場合は、6月以降の手当が受けられなくなり、また、市ホームページからもダウンロード可能です。
※郵送での申し込みは、当日消印有効です。
※第二次試験は、第一次試験の合格者を対象に実施します。(日時および会場は別途通知します)。
●本庁舎総務課 内2316

●持参するもの ▼現況届(6月上旬に郵送します)
▼印鑑 ▼請求者(保護者)本人の健康保険証のコピー(国民年金加入者は除く)
▼平成26年1月2日以降に転入された方は、平成26年1月1日に住所があった市区町村から取得した「平成26年度児童手当所得証明書」▼児童と別居している場合には、「別居監護申立書」(別居監護申立書は各受付窓口にあります)
▼児童の住所が他市区町村の場合には、「お子さんの属する世帯全員の住民票」※状況に応じて、他の書類が必要になる場合があります。
●本庁舎こども課 内2736 / 各庁舎教育振興課 表郷

水道管の漏水調査

市では、水道の漏水を防止するため、公道および宅地内(止水栓まで)の水道管の漏水調査を行います。公道は夜間に、宅地内は日中に調査を実施しますので、ご協力をお願いいたします。なお、調査員は、市水道部の腕章および身分証明書を持っています。
●調査期間 6月13日(金)～9月30日(火)
●水道部 ☎272541

経済センサス-基礎調査および商業統計調査

総務省と経済産業省では、7月1日現在で「経済センサス-基礎調査」と「商業統計調査」を同時に実施します。6月中旬から統計調査員が事業所を訪問しますので、調査へのご協力をお願いします。
●経済センサス-基礎調査 全ての産業分野における事業所の基本的構造を明らかにするための統計調査
●商業統計調査 卸・小売業事業所の実態を明らかにするための統計調査
●本庁舎企画政策課 内2327

金婚夫婦の表彰

県老人クラブ連合会と福島民報社では、金婚式を迎える夫婦を表彰しています。該当者は、昭和39年1月1日から12月31日までに結婚された夫婦です。表彰を希望される方は本庁舎高齢福祉課、各庁舎地域振興課または各老人クラブへお申し込みください。なお、昨年まで申し込みをされなかった金婚夫婦も受け付けています。
●申込期限 7月14日(月)まで
●本庁舎高齢福祉課 内27

子ども人権110番強化週間

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、6月23日から29日までの7日間、全国一斉「子ども人権110番」強化週間として、いじめや嫌がらせ、虐待、体罰など子どもの抱える人権問題について、電話相談を行います。相談には人権擁護委員および法務局職員が応じます。秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。
●日時 6月23日(月)～29日(日)

男女共同参画週間

6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。今年、「家事場のパパデカラ」をキャッチフレーズに、男性と女性が、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向け、国などで様々な取り組みが行われます。
●内閣府男女共同参画局総務課 ☎031525312111

松くい虫航空防除

●会場 県南保健福祉事務所(郭内)
●県南保健福祉事務所 ☎25487
南湖のアカマツを守るために、左図の区域でヘリによる航空防除を行います。周辺地域の方は、洗濯物の取り込みや、自動車に覆いをかけるなど、ご協力をお願いします。また、散布中や散布後1日間は区域内に立ち入らないでください。また、残効期間が8週間採取しないでください。
●日時 6月11日(水)／午前5時～7時 ※天候により順延になる場合があります。

地域協議会・地域づくり協議会委員

地域協議会(表郷・大信・東地域)・地域づくり協議会(白河地域)の委員、60人を紹介します。任期は平成28年3月31日までです。◎会長、○副会長(50音順)

- 表郷地域 ○薄井義久 岡由洋 小野智志 兼田悟子 小林成子 小室順子 佐藤勝江 佐藤節保 塩田木茂 鈴橋本賢 橋本武治 三好祥夫
- 大信地域 岡部美恵子 籠森文子 ○國井孝士 熊倉衛 佐藤真理子 菅森勝雄 杉本一幸 鈴木清和 鈴須高手 須藤原善 高木美幸 増子克邊
- 東地域 我妻栄一 我妻美根子 我妻道夫 我妻恵美子 岡部哲司 金澤マサ子 斎須末正 斎須木正 野崎さわ子 藤田由穂 藤北本宮 矢田部幸夫
- 白河地域 浅川なおみ 荒井ゆづり 寛地利匡 ◎若島正明 齋藤正弘 野川直祐 古水望内 矢渡冬

●本庁舎地域支援課 内2256

飼犬のしつけ方教室

●日時 ▼学科 6月4日(水) / 午前9時30分～11時30分
▼実技 6月11日(水) / 午前9時30分～11時30分



●本庁舎観光課 内2212

案内

キッズ☆カルチャースクール

小・中学生を対象とした夏休み習い事教室を開催します。

- 日時 7月20日(日)(大正琴・和太鼓・演劇は21日(祝))
- 27日(日)、8月10日(日)/午前10時～正午

●会場 マイタウン白河(本町)、市民会館(手代町)、中央公民館(天神町)、東公民館(東釜子)

●教室名および定員

児童合唱教室40人、将棋教室(初級・中級)各15人、囲碁教室30人、絵画造形教室15人、民謡教室20人、和楽器教室20人、夏まつり踊り教室20人、阿波踊り教室20人、いけばな教室25人、大正琴キッズ教室(東・白河)各20人、和太鼓教室15人、川柳教室20人、語り教室20人、子ども演劇教室30人(開催時間/午後3時～5時)、特別教室 白河関まつり踊り流し参加(8月3日(日)午後4時から)

※会場はお問い合わせください

●成果発表 9月23日(祝)/市民会館

●募集期間 7月1日(火)～11日(金)

●本庁舎文化振興課 内2384

青少年健全育成推進大会

●日時 7月7日(月)/午後2時30分から

●会場 市民会館(手代町)

●内容 市内中学校8校の代表による「少年の主張」、青少年健全育成功労者・優良団体等の表彰など

●入場料 無料

●本庁舎生涯学習スポーツ課 内2383

土地の適正管理

雑草の繁茂は、害虫などの発生や不法投棄、放火などの犯罪行為を引き起こす可能性があります。

土地の所有者は定期的に雑草の刈り取りを行うなど、適正管理に努めてください。

●本庁舎生活環境課 内2164

まちかど伝言板

中心市街地活性化事業

ミニコンサート

《Dion・Dion》

●日時 6月15日(日)/午後4時～5時

●会場 えきかふえSHIRAKAWA(郭内)

●入場料 無料

●福島県ミニコンサート実行委員会 遠藤 ☎090-1496-7610

認知症講演会

●日時 6月22日(日)/午後1時から

●会場 市立図書館地域交流会議室(道場小路)

●内容 ▼講演 認知症の予防・対応と地域連携 ▼講師 群馬大学大学院保健学研究教授 山口晴保氏

●入場料 無料 ※事前に申し込みが必要です。

●定員 200人

●申し込み・問い合わせ先 NPO法人みどりのひろば ☎

立教志塾講演会

●日時 6月20日(金)/午後6時30分から8時

●会場 市立図書館地域交流会議室(道場小路)

●内容 ▼講演「江戸から見た白河藩」～新選組・沖田総司を中心に～ ▼講師 堀口茉純氏

●入場料 500円(塾生無料)

●(財)立教志塾 ☎231427

白河の関ぼたるまつり

●日時 6月28日(土)/午前10時 ※雨天時は6月29日(日)に順延(29日が雨天のときは中止となります)

●会場 関の森公園(旗宿)

●入場料 無料

●内容 ステージイベント、流しそうめん(参加費200円)、飲食物販店、ぼたる観覧会 ※イベント売上金の一部を災害復興支援金として、市に寄付します。

●白河の関ぼたるまつり実行委員会(松沢) ☎090-15

初級手話講習会

●日時 6月25日(水)～11月12日(水)(毎週水曜日 計20回) /午後7時～9時

●会場 市立図書館地域交流会議室(道場小路)

●参加料 1,200円(テキスト代)

●申込期限 6月20日(金)まで

●申し込み・問い合わせ先 社会福祉協議会 ☎221159 /白河手話サークル「草原」 渡辺 ☎252528(夜間のみ)



市長の手裡え帖

『日本を表現する歌姫』

白河市長 鈴木 和夫

ここ数年、市民歌謡祭や音楽会に招かれることが多い。皆さん思い思いの派手めのドレスやジャケットに身を包み、スポットライトを浴びる。教室やサークルで鍛えた自慢の歌声を披露する。誰もがいきいきしており、プロ級の人も少なくない。この頃めきめき上達し、あちこちで優勝している知人がいる。「道場破りがいつの間にか道場主になったようだね」と言うと、本人も嬉しそうにしている。

歌謡曲といえば美空ひばり。他を寄せ付けない山脈を築いた。一流の歌い手はひばりにあこがれ、目標としている。昭和とともに世を去りはや25年。この24日が命日にあたる。圧倒的な歌唱力は神からの授かりものというほかない。一方、世に優れた才能を早々にしましこんだ歌手がいる。ちあきなおみ。ひばりに匹敵するのはこの人との声も根強い。低めの甘い切ない声で、語るように、ささやくように歌う。吐息交じりに人生の哀感・情感を描き、「喝采」や「紅とんぼ」では心の陰影を見事に表現した。

絶版となった「アゲイン」という歌がある。大女優への道を歩み、ひまわりのように輝いていた夏目雅子の「時代屋の女房」の挿入歌。夕暮れ時、ほどよい疲れにまどろむ耳もとを流れゆく歌声は、実に心地良い。美空ひばりには吸い込まれる。ちあきなおみにはため息が出る。一人は伝説

になり、一人は伝説になろうとしている。

現役では石川さゆりか。「津軽海峡・冬景色」でアイドルから脱皮し、「波止場しぐれ」「天城越え」「風の盆恋歌」などの名曲を世に出した。女性の情念、勁さ、艶っぽさを表現する力は年を追うごとに増した。特に天城越えは、はるかな高みに登るための試練の曲だった。若くして、全ての叫びのような難しい曲を、よく歌ったものだと感じる。「飢餓海峡」は水上勉の小説を歌にしたもの。三國連太郎と左幸子の名演で史上に残る映画にもなった。胸をかきむしるようにこの世の喜び、哀しさを激しく、切々と訴える。映画のシーンに重ね、聴かたびジーンとくる。

石川さゆりは、誰よりも詞を大事にする。歌詞を追いかけるのではなく、手もとに引き寄せる。意味するところを深く解釈し、深く吐き出す。日本語の美しさや、繊細さ、色彩、臭いまで伝えようとしている。言葉の伝道師といっている。

彼女の地方を見る目は温かい。豊かな自然と人々の営みの結晶であり、外国人が箱庭のよう、と賞賛する日本の風景をいくつくしむ。津軽、能登、越前、瀬戸内。土地の情景と人の息づかいを三分間の世界に込める。それだけに大震災に心を痛めた。歌で人を救えるのか、無力感を味わいながら励ました。その中で出会ったのが、東松島の浜甚句。地元で漁師に長く歌われてきた民謡で、ずしんと胸に響いた。しかし譜面はない。古老の節回しを何度も聞き、音符に落としてみた。これを本人の前で歌い、何とか合格点ももらった。甚句をもとに、浜びとの暮らし・情愛を描く「浜唄」という、味わい深い歌ができた。石川

さゆりは、流れ行く人の世を、歌で切り取る、時代の語り部なのかもしれない。

由紀さおりも詞を大事にする。両手で包むように歌う。学生時代、ラジオから流れる透明な声に聴き惚れた。「夜明けのスキヤット」は、グループサウンズに慣れた耳にとても新鮮だった。その後「手紙」や「恋文」といった日本の響きのする曲がヒットした。そして強い印象を与えたのが童謡コンサート。由紀姉妹の清澄で見事なハーモニーが心をとらえた。日本人の心情そのものの童謡・叙情歌を通して、四季の美しさ、郷愁を表現する。

「早春賦」おぼろ月夜「さくら」「我は海の子」「村祭」「里の秋」「冬の夜」。生活に溶け込んでいた情景が、鮮やかに浮かび、懐かしさがひろがる。由紀は誰でも知っているからこそ、自分の思いを込めすぎず、基本を崩さず歌う。人には、人それぞれ「赤とんぼ」があり、「ふるさと」がある。その思いが入り込める余白を残したという。二人の活躍で童謡がよみがえった。それは日本を、地域を見つめ直すことにつながっている。

衝撃的な論文が発表された。少子化の進行により、30年後には、日本の半数を超える市町村が消える恐れがあるという。国が衰退するばかりか、営々と作りあげてきた日本人の精神や、ものの考え方にも大きく関わってくる。「日本」を育んできた田園・山河を荒らしてはならない。社会の大転換を伴う問題だからこそ、頭だけではなく豊かな感性や鋭敏な感覚も必要。それには女性の役割を重視し、女性の活躍できる条件を整えねばならない。難局を切り拓く鍵は女性にあると思う。